

2020. 6. 13 西部地区PTA指導者研修会資料

令和元年度 群馬県優良PTA表彰



藤岡市立鬼石中学校PTA実践事例

藤岡市立鬼石中学校

PTA会長 萩原 正浩

本日の内容



- 1 はじめに
- 2 藤岡市立鬼石中学校について
- 3 本校のPTAについて
- 4 活動内容

1 はじめに

藤岡市鬼石って、どんなところ？

藤岡市鬼石は群馬県南部、神流川中流域に位置し、県都前橋市より南約25 kmに当たる。

古くから埼玉県児玉・本庄への交通の要地となっていて、江戸期には、鬼石絹・阿久原絹の絹市も開かれていた。茶漬屋・旅籠屋・居酒屋なども栄え、宿場町・市場町として発展した。

また、町の住民の半数以上が商業に従事し、生糸を中心とした奥多野の物資の集散地として発展していた。



鬼石の有名どころ



三波石



冬桜で有名な「桜山」



鬼石祭り

2 藤岡市立鬼石中学校

歴史

- ・昭和61年に鬼石町立美原中学校と三波川中学校および鬼石中学校の3校が統合し、鬼石町立鬼石中学校となる。
- ・平成18年1月1日より藤岡市と鬼石町の合併に伴い、藤岡市立鬼石中学校と名称を変更。
- ・小高い山並みに囲まれ、清らかに豊かに神流川は流れ、水と緑に恵まれた自然環境の下、生徒は日々学習に運動に励んでいる。



令和元年度

- ・生徒数 93名
- ・会員数 85
- ・学級数 5

鬼石連携型小中一貫校 (コミュニティ・スクール)

平成31年度(令和元年度)

- 鬼石小学校・鬼石北小学校との3校による鬼石連携型小中一貫校としてコミュニティ・スクールとして、スタート。
- コミュニティ・スクールの推進を基盤とした小中一貫教育の充実を図り、共通の目指す児童生徒像「地域や自他を大切にし、社会に貢献できる自立した児童・生徒」の育成を目指している。



学校運営協議会

- 年6回の開催。
- PTAの役員も委員として、参画。
- 学校経営方針の承認と学校の課題等における熟議

3 鬼石中学校PTAについて

組織・運営について

本部役員

- ・会長1名、副会長3名、書記2名(1名は教頭)、会計2名(1名は教諭)、会計監査2名、顧問2名(前会長、校長)で構成。
- ・PTA行事企画・運営、委員総会(年1回)、PTA総会(年2回)運営委員会企画・開催(年3回)

運営委員会

- ・本部役員、地区委員長(11名)学年委員長(3名)で構成

専門委員会

- ・地区委員会 11地区で構成
- ・PTA球技大会、夏季パトロール、環境整備作業、PTA講演会の企画・運営及び各種体育行事や中体連、コンクール応援、広報発行
- ・学年委員会 各学級2名で構成(学年保護者会企画・運営、各PTA行事協力)

4 活動内容

鬼石中学校PTA活動方針 「すべては子どもたちのために」

- 1 子どもの学力向上と健全育成に努める。
- 2 PTA活動に主体的、かつ積極的に参加する。
- 3 家庭教育では、子どもたちに規律正しい生活習慣を身に付けさせるように努める。
- 4 学校との連携を深め、保護者と学校と地域が一体となって子どもの教育活動をサポートする。
- 5 一日一度は、家庭で子どもと対話する時間をつくる。

4 活動内容

親子環境整備作業

- ・生徒の生活・学習環境を整えるために、生徒、教職員と共に校舎内の整備、校庭の除草作業などを行っている。
- ・地域への感謝の気持ちを表すために、校外の清掃も行っている。



校内マラソン、立志マラソンの補助

- ・校内マラソンは、『地域のお年寄りに元気を与える』ということで、日曜日に町内の道路を周回するコースで行っている。準備や後片付けに加え、応援のためにたくさんの地域の方がコースに出てくださいるので、交通整理を行っている。
- ・立志マラソンは、2年生が学校と地域の桜山公園までの往復20kmの公道を走るのので、交通整理をしたり、休憩所を設置したりしている。



立志マラソン

チャレンジウィーク（職場体験学習）

藤岡市が進めるチャレンジウィーク（職場体験学習）の受け入れをしている。地元企業で働く会員が事前に調整をすることで、スムーズな受け入れが実現している。

5日間満足した体験学習ができるように、会員が生徒に声をかけたり、仕事を教えたりしている。



PTA会員の発案により根付いた教育活動

・2年生は、伝統的な行事「立志マラソン」の折に、地元へ愛着を持ってもらえるよう、地域の観光資源である『冬桜』を桜山公園に植樹してもらっている。



・学校の教育活動に貢献したいという会員の思いから、地元スーパーに依頼し、『お弁当の日』用のレシピの提供やポスターの掲示等をしている。



キャリア教育の実践

2名の鬼石中学校の卒業生を講師として紹介

声楽家 新井健士さん

- ・合唱指導を依頼。
- ・指導後は「歌う鬼中」のスローガンに恥じない合唱になった。

消防士の新井康大さん

- ・「職業人に話を聞く会」の講師として依頼。
- ・消防士の仕事や勤務形態等について話してもらい生徒の「働くことへの意識」を高めることができた。



声楽家の新井健士さん



消防士の新井康大さん

学校運営協議会から結びついたPTA活動

○学校運営協議会で

「スマホ・タブレットに関するアンケート調査の結果について」

学校課題を熟議した結果

PTA講演会「スマホ・
タブレットに関する講
習会」を開催すること
となる

○学校運営協議会で

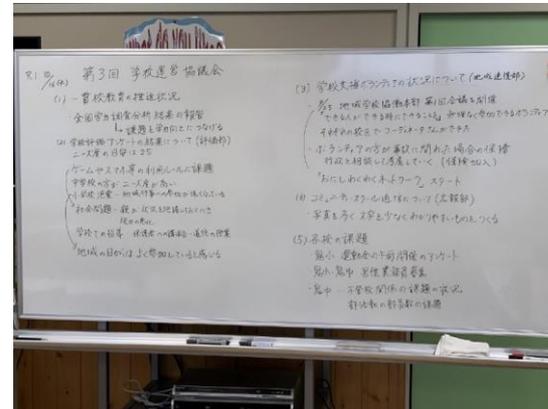
「地域住民の学校ボランティアの参画について」

学校課題を熟議した結果

地域学校協働本部
「おにしわくわく
ネットワーク」会議
を開催することとな
る（詳細は後ほど）



委員の授業参観



学校運営協議会で熟議の内容

スマホ・タブレットに関する講習会

- ・ 学校運営協議会委員に、PTA会員が参画している。そのため、学校が直面している課題を学校運営協議会とPTAが連携して解決していこうとする気運が高まった。
- ・ 学校運営協議会委員の働きかけにより、前年度よりPTA会員が大幅に参加した。
- ・ SNSに関するトラブル等の具体的な事例を紹介してもらったことで、SNSの使い方等について、親子で一緒に考える良い機会となり、地域・保護者・教職員の協力体制も進んだ。



真剣に考える生徒



PTA参加者

地域学校協働本部 「おにしわくわくネットワーク」会議

- ・ 学校運営協議会委員とPTAの連携により、会議の開催が実現した。
- ・ 「おにしわくわくネットワーク」とは、学校支援に関わるボランティア組織の名称である。
- ・ 参加者は、学校運営協議会委員、PTA本部役員、ボランティアコーディネーターである。
- ・ ボランティアコーディネーターが中心となり、今後地域住民の参画を促していくこととなる。



鬼石中学校 今後のPTA活動

- ・PTA活動も会員数減少のため昨年度に組織を大きく変更し、生徒の活動を支えています。
- ・地域学校協働本部（おにしわくわくネットワーク）と連携を図りながら、今後のPTA活動を活性化していこうと考えています。

ご静聴ありがとうございました